



第8回環境安全衛生スローガンコンテスト 理事賞

気をつけて 慣れも不慣れも 事故のもと



■ 10月・11月の安全管理標語 ■
年末に向けて安全衛生管理体制を確認しましょう

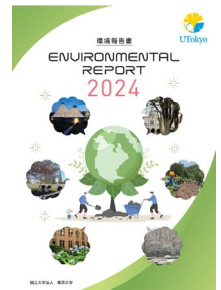
*****東京大学環境報告書 2024 公開のお知らせ*****

このたび、東京大学環境報告書 2024 を公開いたしました。

表紙は本学がUTokyo Compass で示す方針を基にしたコンセプト「環境との対話」を環境報告書らしく親しみ・あたたかみのあるイラストと東京大学の四季で表現しており、2024 年度からの 3 年間はこのコンセプトで編集されます。

内容は環境負荷、環境安全衛生管理に関する実績のほか、本学が進めている GX やサステナビリティに貢献する取り組み、ダイバーシティに関わる活動など広くご紹介しています。東京大学のスケールの大きい「環境」とのかかわりがまとめられていますので、ぜひご一読ください。

< [環境報告書の閲覧はこちらから](#) > *****



■令和 6 年度本部防災訓練を実施しました

10月23日（水）、本部防災訓練を実施しました。ご参加くださったすべての皆様、同時開催にご協力いただいた部局担当者の皆様に心から御礼申し上げます。防災訓練を通じて見つかった課題や疑問点は早めに解消し、より安心・安全なキャンパスづくりを目指していきましょう。

解決方法がわからない問題がある場合は、環境安全本部までご相談ください。



■火災リスクアセスメントは 11 月 25 日（月）まで！！

皆様に実施をお願いしている火災リスクアセスメントの期限が、11 月 25 日（月）に迫っています。皆様には業務・研究でお忙しいところ大変お手数をおかけしておりますが、本学における火災の未然防止のためお力添えを何卒よろしくお願いいたします。

実施にあたってご不明な点などがありましたら、[部局環境安全管理室](#)または[問い合わせフォーム（本部直通）](#)までお知らせください。

■追い込み作業に要注意！！

年末から 3 月にかけて、学位申請準備のために夜間・休日に実験を行う学生が多く見受けられます。疲労が蓄積していたり、睡眠が不足していたりする状態での実験は、注意力不足による事故や体調不良を誘発する恐れがあります。学生の皆様は 3 月に向けて計画的に実験を進めると共に、指導教員・管理責任者の方は必ず計画を把握し、適切な指導を行ってください。特に、危険物を取り扱う実験を 1 人で行うことがないよう徹底してください。

年末年始が近づき研究室内の人数が減っている場合は、在室者が通報手段を把握しておらず通報が遅れるという事態が起こりやすくなります。各部屋の責任者は事前に通報手段を確認すると共に年末年始の研究室の稼働状況を確認し、いざという時に連絡がとれる体制を整えるようにしてください。

★環境安全全般のポスター・通知・資料は東大ポータルからご覧いただけます。ご活用ください。★

https://univtokyo.sharepoint.com/sites/EHS_portal

*****★10・11 月に報告のあった東大の事故事例★*****

□注意を要する事故（！）

・乾熱滅菌器内のプラスチック製品が溶け、煙が発生した。[24180Nf](#)

1 人で作業をする中で起こった事故です。正しい使用法の周知・教育の徹底をお願いします。

□実験中、作業中の事故

・林道修繕作業中、クロスズメバチに刺された。[24182F](#)

・折りたたみ椅子を踏み台に使用してバランスを崩し、膝裏を骨折。[24196I](#)

□移動中の事故

・通勤中に転倒し、骨折した。[24144J](#)

※事故詳細はこちら→「[事故災害事例一覧](#)」